

令和7年度第1回ふじさわ障がい者プラン検討委員会 会議録

日 時：2025年（令和7年）6月2日（月）午前10時から12時まで

会 場：藤沢市本庁舎8階 8-1、8-2会議室

委 員：高山代表、都築委員、種田委員、倉垣内委員、鈴木委員、八十島委員、

小野田委員、松井委員、大郷委員、野村委員、林委員

オブザーバー：村松障がい者総合支援協議会委員

計12名

事務局：古郡福祉部長

障がい者支援課（林、星野、田口、飯沼、大久保、伊原）

こども家庭センター（越川、山中、福岡）

ふじさわ基幹相談支援センターえぼめいく（吉田）

計10名

欠席者：2名

傍聴者：1名

（事務局：林）

おはようございます。障がい者支援課長の林でございます。どうぞよろしく願いいたします。開会に先立ちまして、ご案内がいくつかございますので、お時間いただきたいと思っております。まず、本会議ですが、公開についての報告です。この会議は公開される会議となっておりますので、傍聴者の方にはあらかじめご入場いただいております。2点目といたしまして、委員の出席状況についてご報告いたします。委員12人中ご出席10名でございます。戸高副代表と八十島委員につきましては、欠席のご連絡をいただいております。尚、この会議においては、会議の成立要件規定はございませんので、合わせてご案内させていただきます。また、オブザーバー参加の総合支援協議会、村松委員におかれましても、ご出席をいただいております。3点目、会議の進行等についてのご案内です。本日はこちらの会場の方で5名ご参加いただき、またウェブでのご参加が5名の、ハイブリッドでの開催となっております。円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。ウェブ参加の委員の皆様におかれましては、ご発言時以外は音声をミュートにさせていただきますようお願いいたします。また発言の際には挙手をいただくか、Zoom上の挙手のアイコンをクリックしていただき、指名された後はミュートを解除して、お名前をおっしゃっていただいた上でご発言をお願いいたします。またZoom参加の方、音声や映像が届きにくい状況と不都合がございましたら、すぐにこちらの方に、ご発言等お知らせをいただくようお願いいたします。4点目、本会議ですが、議事録を作成する関係上、会議の内容を録音と記録をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。最後ですが、資料の確認をさせていただきます。資料につきましては、次第に記載をしておりますが、これから確認のため読み上げてまいりますので、お手元ご確認をお願いいたします。本日の資料といたしましては、

資料1 令和7年度藤沢市障がい者総合支援協議会等 スケジュール

資料2 聞き取り調査依頼先一覧

資料3 - 1 (団体用) 聞き取り調査事前記入シート

資料3 - 2 (事業者用) 聞き取り調査事前記入シート

加えて参考資料として、令和7年度ふじさわ障がい者プラン検討委員及び事務局員名簿、続きまして令和6年度第4回藤沢市障がい者プラン検討委員会実施概要、最後に令和6年度第4回藤沢市障がい者プラン検討委員会会議録、以上を配布しております。資料について過不足等ございましたら、お声かけいただきたいと思っております。

それでは、新年度初めての会議でもございますので、今年度主任になりました福祉部長の古郡から一言ご挨拶を申し上げます。

(事務局 古郡)

皆さん改めましておはようございます。福祉部長の古郡と申します。この4月から着任をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。本日はお忙しい中、お越しいただいた委員の皆様とZoomで参加の皆さん、大変ありがとうございます。本委

員会の皆様におかれましては、日頃から本市の障がい者施策、あるいは福祉行政全般に對しまして、様々なお立場からご理解とご協力をいただいていることに、この場を借りまして改めて御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。さて、今年度につきましては、今の計画が動いているわけですが、令和9年度から新しい次期計画になってまいります。その策定のための聞き取り調査あるいはアンケート調査など進めていくということになりますが、現計画のモニタリングなども含めまして、ぜひ引き続き皆様からのご意見などをいただきながら、より良いものとしていきたいと思っていますので、よろしくお願いをいたします。昨今、福祉を取り巻く環境については、かなり厳しいものとなっていると思っています。特に課題について、複雑化複合化しているという状況、そして、今人口減少の社会に入ってきています。藤沢市は転入の方が数いらっしゃるので、まだ人口が減ってきていないのですが、日本全体としては人口減少、特に生産年齢の人口、働いている世代の人口が減っているという局面になってまいりました。そして少子超高齢化は更に進んでいくという状況でございまして、そのような中で、障がいがある方もない方も、そして高齢者も子どもも、全ての市民の方が安心して生活できるような地域を作っていくということで、今藤沢市としても取り組みを進めているところでございます。ぜひ本委員会の皆さん引き続き忌憚のないご意見、あるいはアイデアなどをいただきながら、1年間進めてまいりたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いをいたします。簡単ですけども、ご挨拶とさせていただきます。

(事務局 林)

続きまして、改めまして4月1日付けで障がい者支援課長を拝命いたしました林と申します。どうぞよろしくお願いをいたします。7年前に当時の地域包括ケアシステム推進室、現高齢者支援課で高齢者の在宅サービスの担当を3年間いたしました。その後、健康医療部保健所の中の総務課で、4年間コロナ対応等いたしました。4月になりまして、また本庁舎2階の福祉部に戻ってまいりまして、今回は障がい者支援課ということで、皆様のご意見等をいただきながら勉強させていただきつつ、今回のプラン策定の方も対応させていただきたいと思っています。障がい者支援課で対応する一番重要なプラン計画となっておりますので、どうぞ皆様の活発なご意見を頂戴したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

(事務局 大久保)

4月から障がい者支援課に配属されました大久保と申します。よろしくお願いをいたします。

(事務局 越川)

皆さんおはようございます。こども家庭センターの越川と申します。どうぞよろしくお願いをいたします。こども家庭センターにつきましては、これまでこども家庭課という名前で、様々なお子さんに対する支援を行ってききましたが、この4月から名称をこども家庭センターと改めまして、業務を進めているところでございます。お子さんに関する困りごと

など幅広くいくということで、名称変更を踏まえて活動しているところです。どうぞよろしく願いいたします。

(事務局 山中)

おはようございます。今年の4月からこども家庭センターの方に配属となりました山中と申します。よろしく願いいたします。

(事務局 林)

それでは、お時間を頂戴してありがとうございました。今年度も事務局一同真摯に対応してまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。尚、委員の皆様につきましては、昨年度と委員構成の変更はございませんので、どうぞ引き続き今年度もよろしく願いいたします。それでは、会議の進行につきまして、高山代表をお願いをしたいと思います。高山代表どうぞよろしく願いいたします。

(高山代表)

皆さんおはようございます。今日もお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今年度も委員の皆さん、また事務局はかなり新しいメンバーになっていますけども、事務局の皆さんどうぞよろしく願いいたします。オブザーバーの村松様ありがとうございます。それでは、早速議事に入ってまいりたいと思います。最初に報告事項、今年度の会議開催スケジュールについて、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。それでは、資料1をご覧ください。こちらは今年度の総合支援協議会、プラン検討委員会またヒアリング調査、アンケート調査の実施日程を示したものとなります。今年度本委員会につきましては、全4回を予定しております。日程については、第1回が本日6月2日、第2回は8月4日、第3回は11月10日、第4回が来年1月26日となっております。いずれも開催につきましては、毎月曜日午前10時から実施予定となっております。以前日程につきましては、皆様にご連絡したかと思いますが、改めてご予定おきいただきますようお願いいたします。またこちら、各会に実施予定事項を記載しております。ただし、こちらにつきましては、予定というところで、実施内容につきましては、今後の会議の進行によっては変更になる可能性がありますので、こちらもご了承ください。また今年度は、次期プラン策定のため、当事者団体や事業者へのヒアリング調査や、当事者、その保護者へのアンケート調査を実施いたします。ヒアリング調査につきましては、本日の検討委員会でヒアリング調査実施前の事前記入シートを確定させ、その後各団体、事業者へシートの送付、また聞き取り調査実施日の確認を行っていきます。その後7月から8月にかけて、この聞き取り調査を実施していきます。アンケート調査につきましては、7月ごろにアンケートの素案を作成し、次回8月4日の第2回検討委員会で皆様から意見を聴取しまして、第3回の11月の委員会にてアンケート調査の案を確定

させまして、12月頃、アンケート用紙を配布する予定であります。その後、アンケートにつきましても、年末年始にかけて回答していただき、アンケートを回収していきます。また総合支援協議会につきましても、今年度全4回の開催を予定しております。こちらの開催状況につきましても、会議開催の度に本委員会に報告をさせていただきます。障がい者総合支援協議会等のスケジュールについては以上となります。

(高山代表)

はい。ありがとうございます。ただいま今年度の検討委員会の日程、それから主にどの時期にどのようなことをしていくかということについてのご説明をいただきました。日程スケジュールにつきましても、確認されたいことがある方はお知らせください。よろしいでしょうか。

それでは、こちらの日程を進めていくということで協議をさせていただきました。

それでは、次にプラン策定に向けた聞き取り調査、それからアンケート調査、それから委託事業者について、事務局からご説明をいただきたいと思います。お願いいたします。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。こちらについては資料のご提示はございません。今年度ヒアリング調査、アンケート調査の二つの調査結果を元に、健康プランの結果を踏まえ、経年変化の分析を行うとともに、次期計画策定に向けた現状分析や方向性の整理、また策定に向けた準備を行っていきます。多様な障がい特性を理解し、障がいを有する方の意見だとか、地域課題を抽出し、分析するために専門的な知見が必要というところである業務であることから、本業務につきましても、業務委託業者をお願いする形といたします。業者の選定につきましても、先月5月12日に公募業者から業務内容を提案していただき、その中から最適な業者を選び出すプロポーサル方式で実施いたしました。その結果、今回愛知県名古屋市内に本社を構える株式会社名豊様に業務委託をお願いすることとなりました。調査分析を経て、本委員会とともに本市の施策形成について、具体的な提案や効果的な支援をお願いしたいと思います。尚、本日はこの受託業者であります株式会社名豊様の谷貝様に来ていただいております。今回初めての顔合わせとなりますので、一言ご挨拶をいただければと思います。よろしく申し上げます。

(株式会社名豊 谷貝)

株式会社名豊の谷貝と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 飯沼)

はい。谷貝さんありがとうございます。今年度につきましても、このような形で、事務局、委員様、また株式会社名豊様でプランの策定のための業務について、進めていきたいと思っております。本報告については以上です。

(高山代表)

はい。ありがとうございます。ただいま調査についての委託事業者のご紹介もございましたが、何か確認されたいことはございますでしょうか。会場の委員の皆さんもよろしいでしょうか。お願いいたします。

(種田委員)

藤沢市肢体障害者協会の種田と申します。1点お伺いしたいと思います。この業務委託の選定にあたっては、何社くらいが応募されたのでしょうか。

(事務局 飯沼)

はい。こちらにつきましては、当初4事業者から申し込みがありまして、その後1社辞退がありましたので、3社申し込みがありました。

(種田委員)

ありがとうございます。

(高山代表)

はい。ありがとうございます。他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、株式会社名豊様にはリサーチの作成や他の委員会での皆さんの意見を踏まえての策定にご協力いただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、続きまして協議事項に入りたいと思います。聞き取り調査について、調査対象となる団体、組織、事業者について、事務局からご説明お願いいたします。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。資料2をご覧ください。今年度、聞き取り調査を実施するにあたりまして、対象となる団体または事業者種別をこちらに記載しております。前回調査した令和4年度実施の際と同様に市内の当事者、また家族団体等12団体、また市内事業者の種別を対象としております。前回聞き取りを行った団体へ聞き取りを行うことで、こちらについては、3年間の経年変化などを確認できればと考えております。また各団体事業者グループに、この後説明いたします事前記入シートを送付しまして、団体内で事前記入シートの回答、また聞き取り調査の実施可能日や開催場所の希望の回答を行っていただきまして、実態調査に臨んでいきます。また、このうち事業者の3番、日中活動サービス提供事業者については、この中で唯一連絡会の協議会がないため、市内35カ所すべてに連絡を行って、あらかじめ定めた日程で参加できる事業者に参加いただき、聞き取り調査を行えればと考えております。この協議事項では、こちら案として取り上げました聞き取り調査の対象の団体について、ご意見を委員の方からいただければと思っております。よろしくお願いいたします。

(高山代表)

ありがとうございました。資料2、聞き取り調査の依頼先ということで、団体名、また事業者のグループ名が書かれているところですが、今のご説明について、皆さんの方からご質問、更にご確認されたいことなどありますでしょうか。

(林委員)

市民代表の林です。上の当事者等のところの11番ですが、前回の資料を見ると藤沢市ALSと書いてあるのですが、ホームページでもそこにその部分を書いてあったので、もしかしたら抜けているのかなと思いますので、よろしくをお願いします。

(高山代表)

はい。これは事務局からお答えになりますか。

(事務局 飯沼)

すみません、林委員、前回の資料というのは、第4回の資料ですね。

(林委員)

そうです。

(高山代表)

今オンライン参加の村松委員からチャットが、事務局にも入っているかと思います。村松委員、お願いしてよろしいですか。

(村松委員)

口頭で申し上げます。口頭では、藤沢市ALS神経難病患者の会が正式な名称です。また文字で事務局の方に送りたいと思いますので、よろしくをお願いします。

(高山代表)

はい。ありがとうございました。林委員、事務局よろしいでしょうか。

(事務局 飯沼)

ありがとうございます。後ほど訂正させていただきます。

(高山代表)

お願いいたします。他はいかがでしょうか。

(都築委員)

藤沢市自閉症児・者親の会の都築です。聞き取り調査の依頼先ですが、前回1月の委員会の時に、私ではない委員の方から、対象を増やしたらどうかということで、いくつか候補が挙がったかと思うのですが、そちらで検討上、やはり対象にはならなかったということでしょうか。確かケアマネさんの連絡会や高齢者支援をしている方を対象にしたらどうかという意見があったかと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。申し訳ございません。ただいまの質問につきましては、前回ご提案いただいたところについては、記載をしておりませんでした。そういったところにつきましても、聞き取りができるようであれば、行いたいと思いますので、今後連絡会に連絡をして、できるようであれば行っていきたいと思っております。

(高山代表)

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

(野村委員)

市民の野村です。よろしく申し上げます。今のお話と関連することですが、聞き取り調査をする団体で、当事者家族団体は当然入ると思います。それから、福祉サービス事業者も入ると思います。ただ個人的な見解ですが、障がい者福祉やプランを考えるにあたって、当事者と事業者以外に、もう1つ入れていただきたいのが、ボランティアです。事業ではないけれども関わっている方々が多くいますので、そのようなグループ、団体を入れていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(高山代表)

ありがとうございます。事務局から想定されるボランティア団体とかありますでしょうか。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。ボランティアといえば、今野村委員からいただきました手話団体や要約筆記の団体などもあるかと思っております。これまでボランティア団体に聞き取り調

査を行ったという計画がなかったので、こちらを検討候補とさせていただきたいです。どこに行くかにつきましては、持ち帰りまして、こちらで確認しているボランティア団体や委員の方からこのような団体があるということがあれば、それを踏まえて検討していければと思います。

(野村委員)

ありがとうございます。事業者として、相談系、居宅系、日中関わる活動系などがありますが、例えば点訳、音訳などは事業としてはありません。ほとんどボランティアがされているので、そのような事業ではないけれども活動されている、活躍されている方々ということで、色々あるかと思しますので、よろしく願いいたします。

(高山代表)

ありがとうございました。他はいかがでしょうか。今意見をいただきましたところについては、新たな聞き取り調査依頼先としてご検討いただくということでよろしいかと思えます。また、候補については、委員の皆さんから個別に伺うこともあるかもしれませんが、ご協力いただきたいと思います。それから、前回から少し新しくなっているところが、障がい福祉サービス事業者の3のところで、生活介護については、事業所連絡会がないので、市内の事業所35カ所、これ全てに通知をして、日程を設定し、お集まりいただけるところにお集まりいただくという方法を取るということですね。委員会の方で事業所を選定するのではなく、全ての事業所にご意見を伺う機会を設けるということですね。ここが前回との変更点かと思いますが、この文言について何かご意見ありますでしょうか。よろしいですか。ぜひお忙しいとは思いますが、多くの生活介護の事業所の方にご参加、ご協力いただけるといいと思っています。

これも先ほど名称の訂正のところで、お話をいただきましたが、聞き取り調査の依頼先について、ご意見等ありますでしょうか。

(村松委員)

前日もヒアリングに参加させていただきましたが、失礼に当たってしまうかもしれませんが、いわゆる障がい福祉に対して、専門的なことをこれまでやってこられたのかどうかということについてもお聞きしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(高山代表)

委託事業者の名豊様のこれまでの実績について確認されたいということですね。お聞きすることはできますか。

(株式会社名豊 谷貝)

ありがとうございます。私共、障がい者基本計画から障がい福祉計画等の色んな自治体

さんのお手伝いをさせていただいております。その中でアンケートであったり、ヒアリング調査であったり、色々と一緒にさせていただいておりますので、かなりの実績は他自治体さんも含めてあるという状況でございます。以上です。

(村松委員)

ありがとうございます。

(高山代表)

これまでも実績がおありということだと思います。ただ自治体ごとに色んな特性がありますし、特に聞き取りに行かれる団体それぞれに、歩んできた歴史などもありますので、事前に事務局と情報共有などをしていただけると、更にスムーズに聞き取りなどが進められるのではないかと思いますので、名豊様にはそのようにご準備いただけるようお願いしたいと思います。

他はいかがでしょうか。特に無いようですので、聞き取り調査対象の団体、組織、事業所については、今聞かせていただきました意見をもとに、再度加える等の検討はしていただくということよろしいかと思います。

それでは、進めていきたいと思います。次が事前の記入シートについてです。聞き取り調査にご協力いただく前の記入シートについて、案を作成していただいておりますので、こちらと聞き取り調査事項について、事務局からご説明いただきたいと思います。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。資料3-1, 3-2をご覧ください。こちら聞き取り調査の事前記入シートの案になります。こちらについて、資料3-1は当事者家族団体用、資料3-2は障がい福祉サービス事業者用となります。こちらに記入していただいたシートを元に、事前の聞き取りを行った上で、ヒアリング材料とするために作成したものとなります。内容としては、団体用また事業者用共通しまして、現計画、障がい者計画の評価を行うための設問を、それぞれ作成した現状、課題抽出を目的として設けております。現計画、障がい者計画の評価を行うための設問につきましては、昨年度皆様と協議し定めた障がい者計画モニタリング指標、事業評価指標をもとに、基本目標と施策の柱の進捗の度合いを、できなかったで、皆さんに回答していただきまして、それ以外に理由など詳細を記述いただいたところには、聞き取り調査時に深追いして、内容を確認できればと考えております。そして、その後にある現状課題抽出を目的とした設問につきましては、各団体が考える課題、問題点について自由記述を基本に記載していただきます。各団体に今後求められる結論項目となりますので、聞き取り調査でより詳細な情報を引き出せるよう当日は実施できればと考えております。また、事前記入シートの回答につきましては、メール、FAX、郵送などの形以外に、皆様の協力を得まして Web 回答という形も考えております。これをもってより簡単に回答ができればと考えております。今回の協議事項では、案として設問項目または、当日の聞き取り調査時にお願したいことなどについて、皆様からご意見をいただければと思っております。よろしくお願いたします。

(高山代表)

ありがとうございました。ただいまこの記入シートがどのような構成で作られているかのご説明もありました。ご覧いただきまして、委員の皆様のご意見等いかがでしょうか。

(野村委員)

野村です。この団体、事業者に配って回答する方というのは、団体、事業者の代表として回答されるのか、そこに所属する個人として回答されるのか、どちらでしょうか。

(事務局 飯沼)

連絡会などにつきましては、団体としての意見を考えております。生活介護事業者につきましては、連絡会などがいないため、各業者として回答いただければというところを考えております。

(野村委員)

ありがとうございます。そうすると、例えば団体の送ったシートの回答というのは、その団体の所属する個人である団体としての回答ということになるのでしょうか。

(事務局 飯沼)

その通りでございます。

(野村委員)

わかりました。ありがとうございます。

(高山代表)

他の委員の皆様いかがでしょうか。

(都築委員)

自閉症児・者親の会の都築です。事前情報記入シートが今までの委員会で挙げてきた KPI を基に作成されたというお話で、おそらく1月の委員会の資料2-1を基に作られたのだらうと思ったのですが、そうすると、設問の1と2の KPI は周囲から認識されにくい障がいというのが KPI として挙げていたかと思うのですが、精神障がいとか発達障がいとか内部障がい、こちらの理解されにくい障がいの理解ということが KPI かと思うのですが、この設問だと他の色んな団体さんに影響があるかと思うのですが、若干そこが薄れて

くるのではないかと思うのですが、その辺はどのようにお考えなのか教えてください。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。都築委員からご指摘いただき通り、KPI につきましては、周囲から認識されにくいというところの理解の促進が挙げられております。今作成した資料 3-1 につきましては、その記載が確かに抜けており、見ただけから質問の意図が読み取れないところだと思いますので、こちらにつきましてはその意図がわかるよう修正させていただきます。

(高山代表)

都築委員、よろしかったでしょうか。

(都築委員)

はい。どのような修正がされるかですが、見直していただけるということでしたら、そちらを拝見したいと思います。

(倉垣内委員)

先ほど野村委員が質問されていたことに関連するのですが、飯沼さんからの回答で、連絡会にもこちらをお知らせするという事は、福祉団体連絡会にも降りるということで解釈してよろしいでしょうか。

(事務局 飯沼)

はい。飯沼です。福祉団体連絡会というのは、今挙げている協会を取りまとめているような団体ということでよろしいでしょうか。

(倉垣内委員)

連絡会というのはそもそも何でしょうか。

(事務局 飯沼)

今、連絡会という言い方をしてしまいましたが、例として挙げれば、肢体障がい者協会などの当事者、家族団体を今挙げているところでありまして、その言い方を連絡会としてしまったのですが、その意図は少し違うかもしれないです。

(倉垣内委員)

ありがとうございます。ということは、各団体そのものに連絡が行くという解釈でいいわけですね。例えば視覚障がい者福祉団体とか、そういうことですね。

(事務局 飯沼)

はい。倉垣内委員のおっしゃる通りでございまして、各団体、協会に依頼を行おうと考えております。

(倉垣内委員)

ありがとうございます。このままだと私から会長を通して、団体に伝えて、中で協議するのかなと思いましたので、市の方からそのように降ろしてくださるということであればとても有難いです。それから、資料をいただいた中で、テキストファイルでいただくということで要望を出したのですが、実際に設間を見ると、句読点がないので、どこで区切るのかわからず、昨日単語モードに切り替えて、全部文字起こしをしました。なので、印刷する前の文字でいただく方がわかりやすいので、今後視覚障がい者福祉協会に関しましては、要望しているものでいただけると助かりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局 飯沼)

倉垣内委員ありがとうございます。今回お送りした資料の構成が分かりづらかったということだと思います。全ての資料をテキスト化して一緒にしたと思うのですが、その中で句読点などが今回なかったので、分かりづらかったということでしょうか。

(倉垣内委員)

はい。実はそのように添付ファイルでいただく資料というのは、他のところからいただいているものも句読点がありません。なので、別々にテキストをいただくよりも全部一緒の方が、開いたり閉じたりしなくてもいいので、全部まとめて下さいという要望を出しましたが、今度資料としていただく場合は、該当するところだけで構わないので、印刷する前の句読点のある資料を出していただける方が、私達は分かり易いので、それでいただきたいという思いです。よろしくお願いいたします。

(事務局 飯沼)

ありがとうございます。次回以降また送らせていただくときに、資料の形式について改めてご相談させていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(倉垣内委員)

よろしくお願いいたします。

(高山代表)

ありがとうございました。他はいかがでしょうか。

(野村委員)

全体的な設問の作り方ですが、「～と思いますか」という風に作られています。例えば、資料3-1の設問1のところ、「障がいに係る講演会等を通じて、障がい関係がある方、ない方を問わず、市民に障がい理解が促進されていると思いますか。」とありますが、この「障がいに係る講演会等」というのをご存知かどうかということが先にあるのではないのでしょうか。例えば「藤沢市障がい者虐待防止センターについては、適切に稼働しており、虐待防止や発生後の対応に貢献していると思いますか」と設問がありますが、そもそも「障がい者虐待防止センター」を知らなければ、「思いますか」と問われてもわからないわけで、「思いますか」という問の前に、「ご存知ですか」という問があって、ご存知ない方は答えようがないわけで、知っている方についてどう思いますかという聞き方をしないと、こちらの会議に出席されている方々は、障がい者プラン2026についてお分かりなわけですが、多分団体事業者までかなり知られていないのではないかと思います。そもそも「藤沢市障がい者プラン2026をご存知ですか」という設問が入ってもいいのではないかと思います。うくらいですがいかがでしょうか。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。野村委員ご意見ありがとうございます。前提としまして、設問に対して回答が難しい場合には未回答でも構わないというような記載をしているので、わからなかったら書かなくてもいいのではないかとこのところ考えておりました。この作りにつきましては、KPI というところから、昨年度協議した重点推進項目を推進しているのかということ、このような記載をしておりますが、それ以前にその知識があるかないかということにつきましては、確かにその通りだと思いますので、「～を知っていますか」というように初歩的な設問を入れられるように検討していければと思います。

(野村委員)

ありがとうございます。林課長も言われたように、障がい者支援の根幹を成すようなプランだと思いますので、その浸透具合を計るという意味でも、そのようなものを入れていただくといいかと思いますので、よろしく願いいたします。

(高山代表)

ありがとうございます。今日ご参加の委員の皆さんには、これに回答する立場の方もおられるかと思いますが、その立場からのご意見もいただきたいと思います。

(小野田委員)

小野田です。全体的に同じ設問の中で「また」で繋いで、2つ聞いているという場面が多くあるかなと思います。例えば設問5では「①～」「②～」という形にして、下の回答欄にも①、②と書いてあった方が回答がしやすいと思います。先ほどの野村委員のお話のように、わからないところはそのまま、わかるところは答えるみたいなこともできるのではないかと思います。特に設問5は、「日中サービス支援型が強化～と思いますか」で「はい」と答えたとしても、次に「障がい者総合支援協議会で評価されていると思いますか」というのは全然違う内容かなと思うので、聞きたい内容ではあるので、同じ設問に入れてもいいとは思いますが、①、②と分けた方が答えやすいのではないかと思います。

(高山代表)

ありがとうございます。もし他の委員の皆さんから質問があれば続けてお聞きして、事務局の方にまとめてお答えしていただければと思いますが、いかがでしょうか。

(鈴木委員)

各設問で「思いますか」という問いに対して、「思わない」あるいは「思います」だけいいのか、それとも具体的に「促進するためにはこうした方がいいと思います」というような意見まで書いていいのかをお聞きしたいです。

(高山代表)

事務局ご回答いただいてもいいですか。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。初めに小野田委員からいただきました意見につきましては、確かに設問の中に別の内容が2つ入っているという状況が見られますので、①、②を付けて、各施策の柱ごとの中でも、質問がいくつかあるような形で、回答しやすいように打ち出したいと思います。続きまして、鈴木委員の回答につきましては、「思いますか」ということにつきましては、進捗状況がどうかというところでこのような質問の形とさせていただいております。ただ、「思います」だけでは、こちらの設問は作りとしてもないのかなと思いますので、もう少しどのように回答した方がいいのかというところを記載できるような形で説明を作り、修正をしたいと思います。

(高山代表)

ありがとうございます。補足しますと、確かに1項目で複数聞いているのは、段階を分けた方がいいと思うのと、そもそも事実としてそれを知っているかどうかというところについても、確認を入れた上で、同じ設問の中に何かつけた方がいいというのは、ご意見としてその通りかなと思いますので、もう少し修正をしていく必要があると思います。また、

「思います」「思わない」で確かに答えになっているのですが、もちろんそれ以外の事も書いていただいてもいいというのが事務局としてもあったと思うのですが、これを基に聞き取りをするので、ここでたくさんを書くのを書いていただくと、すごい労力になってしまうので、記入シートの方は未回答でも構わないというところで、わからないからというよりは、たくさんあるので、この欄で書くのは難しいということも含めて、ここでは「思っている」とか「思わない」ということだけ伺って、その先の詳しいことは聞き取りのところでお聞きするというつもりもあって、事務局はこのように整理をされたと記憶しています。従って、そのこともわかるようなことを冒頭に書いていただいてもいいのかなと思います。今もキーワードだけでも構いませんとか、設問に対して難しい場合は未回答でも構いませんというのがあるので、無理して答えなくてもいいというのがわかるのですが、他のヒアリングで聞きますということをしちんと書いた方がいいのではないかと思いますので、そこも工夫をしていただきたいと思います。

委員の皆さんから何かありますか。

(種田委員)

肢体障害者協会の種田です。施策に対する意見を求められると思うのですが、私共の団体の役員の中でも、この施策を知っている者がいないのと、サービスを受けている人も少ない、また高齢者が多いので、子どもの障がい者のことはわからないということもあり、答えられる設問が少ないという感じがします。その中でヒアリングで聞き取りしていただけるということですが、あまり答えられる設問が少ないのかなというのは申し訳ないと思います。よろしくをお願いします。

(都築委員)

自閉症児・者親の会の都築です。設問11ですが、インクルーシブ教育のKPIも挙がっていたので、この問題を作るのはそうだと思います。前回の委員会の時に、インクルーシブ教育の定義が曖昧だというお話だったと思うのですが、そのままの設問で、各団体が答えていくと、それぞれが思うようなインクルーシブ教育を念頭に答えていくと思います。こここのところをはっきりしないと、対象として集計した時にずれてしまうのではないかと思います。どのようにお考えなのか教えてください。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。初めに種田委員からありました意見についてです。種田委員からは、団体用の設問の下の地域クラブの現状課題などにつきましては、他の団体からはなかなか回答が難しいというようなご意見でよろしかったでしょうか。

(種田委員)

答えられる設問が少ないので、申し訳ないと思っているというところです。

(事務局 飯沼)

かしこまりました。参考までにお聞きしたいのですが、次期プランの現状課題というところで、各団体の課題と思えたところや、思っているところを多く聞き出せればいいかなというところになっておりました、もし何かこういったところがあればというところがあれば、伺わせていただきたいです。いかがでしょうか。

(種田委員)

当団体の課題としましては、会員の高齢化が進んでおりました、なかなか団体として活動することが難しい状況があります。その中でも、役員と一緒に頑張っているのですが、答えられる設問が少ないのかなということですが、次期プラン策定に向けた現状課題の方は答えられると思います。よろしくをお願いします。

(事務局 飯沼)

ありがとうございます。次期プラン策定のための現状課題というところで、今挙げたのは、団体としての課題と言いますか、高齢化が進んでいるというところもあるかと思えます。従いまして、各団体としての現状課題などを設問に入れてもいいと思いますので、ご参考にさせていただきたいと思えます。ありがとうございます。

続きまして、都築委員からご質問がありました設問11のインクルーシブ教育についてです。こちらにつきましては、前回ご指摘いただいたインクルーシブ教育についての定義づけというところは、確かにこの設問からはきちんと見られないところがあるかと思えます。こちらにつきましては、また障害者支援課だけでなく、学校教育の話もあるかと思えますので、そちらも踏まえて、改めてどのようなところを確認すればいいのかというところの定義づけについて検討させていただければと思います。

(高山代表)

ありがとうございます。他はいかがでしょう。

(野村委員)

野村です。これは対面で聞き取り調査をする前の事前情報ということでしょうか。

(事務局 飯沼)

野村委員のおっしゃる通りです。

(野村委員)

そうすると、1つの案ですが、「思う」「思わない」を聞く時によくあるのが、「全く思わ

ない」「少しは思う」「どちらでもない」「大変思う」など例えば5段階評価でつけていただいて、実際に対面で聞き取りをする時には、その1と2の項目に対して重点的に聞き取りをするなど、そのようなことができるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

(事務局 飯沼)

ありがとうございます。先ほど野村委員からあった「知っている」「知らない」のところも踏まえて、そのような形で選択できるような設問項目にしても回答しやすいかと思えますので、検討の材料とさせていただければと思います。

(林委員)

市民の林です。返ってくる聞き取り調査の結果も、最終的には文章で返ってくるのでしょうか。

(事務局 飯沼)

はい。こちらの事前記入シートにつきましては、箇条書きであったり、文章で返ってきます。

(林委員)

聞き取り調査の結果というのは、聞いていったことが文章として残るということでしょうか。

(事務局 飯沼)

おっしゃる通りで、あくまで対面なので、皆様を前にしてお話を聞き取っていきますので、最終的な形としては文章として回答は残っていきます。

(林委員)

そうであれば、次のプランに役立てるためには、どのような集計の方法になるのか、教えてください。

(事務局 飯沼)

はい。集計につきましては、あくまで聞き取り調査なので、皆さんの抱える課題というところを重点的にお話できればと思います。その中で、複数の団体、事業者で抱える課題が一緒であれば、そのようなところは藤沢市としての問題だと考えられると思います。集計でいえば、別の項目でアンケート調査につきましては、市民または保護者の方に共通した設問を伺って、その結果を集計した形になりますので、アンケート調査で現状課題を把

握していければと考えております。従いまして、聞き取り調査は共通した質問というわけではなく、各団体で抱える課題について聞き取りができればと考えております。

(林委員)

わかりました。この会議でもその結果が出てくると思うのですが、文章で提示されるということでしょうか。

(事務局 飯沼)

はい。聞き取った内容につきましては、生のデータでというわけではなく、名豊様の方で取りまとめていただいた後に、皆様にご提示したいと考えております。

(林委員)

ありがとうございます。

(高山代表)

ありがとうございます。聞き取り調査については、研究ではないので分析をかけるというよりは、どのような声があったかということを中心に受け止めていくということが大事ではないかと思えます。あまり分析してしまうと、少ない意見が削がれていってしまうということが出てきますので、複数の団体が言っているとか、1団体しか言っていないということで、聞き取りした内容の部分が変わってくるということになると、それは趣旨が違ってくると思えます。聞き取った内容についての取扱いについては、名豊さんのご提案をいただきながらということになるかと思えますが、きちんと計画策定に反映するという視点で受け止めていく必要があると思えます。他にいかがでしょうか。

(野村委員)

これと同じ聞き取り調査を2022年にされているわけですね。

(事務局 飯沼)

はい。おっしゃる通りです。

(野村委員)

2022年に聞き取り調査をされて、その結果が全部ではないと思えますが、2024年からのプランに反映されているかと思えます。何か1つでいいので、2022年の聞き取り調査の結果から2024年の今のプランに反映された事例をご紹介いただけたらと思えます。

(事務局 飯沼)

申し訳ありません。すぐに前回の聞き取り調査から、現計画についてどこが反映されたかというところをお答えすることができません。ただ、もちろんこの計画を策定した際に、この項目は聞き取り調査を基にしているというところが確認できればと思いますので、後ほど別に回答させていただいてもよろしいでしょうか。

(野村委員)

ありがとうございます。

(高山代表)

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

(村松委員)

聞き取り調査の後にそれもまとめた形で文書化されるということでしたが、前回の聞き取りの結果、内容的にこれで間違いないという確認は各団体からありましたでしょうか。各団体との言葉のやり取りなので、間違ったニュアンスで伝わる場合もあり、リスクがあるのではないかと思います、そこをお聞きしたいです。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。申し訳ありません。こちらについても、前回聞き取り調査の結果を各団体、事業者に全て確認したかどうかわからないので、確認させていただきます。今回につきましては、名豊様と取りまとめた後に、各団体、事業者にこのような形で回答いただけましたかという確認はできればと思いますので、参考にさせていただきます。

(村松委員)

ありがとうございます。

(松井委員)

松井です。資料3-2の事業者用を見直してしまして、聞き取り調査の対象の障がい福祉サービス事業者の中で、各連絡会それぞれの現状の中で答えていくというところかと思っていたのですが、次期プラン策定に向けた現状課題などを見ると、私が所属する藤沢市障害福祉法人協議会は社会福祉法人の代表者の集まりになりますので、その辺りからお答えするというのも、調査の中では有効になるのではないかと思います。もし、今から加えるのかどうか、ご判断いただければと思います。前回もそこが無かったと思いますので、検討の中に加えていただけるといいのではないかと思います。よろしく願います。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。今いただいた意見につきましては、おっしゃる通り検討させていただきます。ありがとうございます。

(高山代表)

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

(野村委員)

野村です。スケジュールを見ますと、事前記入シートは早々に配られて、7月上旬には回収して、来月聞き取りということですね。そうすると、色々ご意見いただいて、支援課で作られたものはこちらで確認することは時間的にできないわけですね。

(事務局 飯沼)

はい。事務局飯沼です。今回たくさんのご意見をいただきましたので、事前記入シートにつきましては、やはり皆様に確認をいただいた方がいいかと思えます。早急に手をつけて、皆様に確認期間を設けた後に、各団体、事業者に送付したいと考えております。

(野村委員)

ありがとうございます。お待ちしております。

(高山代表)

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、それぞれたくさんのご意見ありがとうございました。より良い記入シート且つ、特に回答してくださる方が、回答しやすい内容にしていくということが大事かと思えますし、それが次のヒアリングにも生きてくるかと思えますので、事務局は大変短い時間になるかと思えますが、皆さんにご協力いただいて、シートの様式を整えていただくことをお願いしたいと思います。そして、取りまとめていただいたものを、また委員の皆さんにご確認いただいた上で、送付していくということになるかと思えますので、よろしく願います。シートについて最後に事務局から何かございますか。

(事務局 飯沼)

はい。高山代表がおっしゃったように、いただいた意見を修正して、また名豊様と協議した上で、実際に各団体に送るような形で作成をさせていただきます。皆さんに見ていただければと思っております。またご意見等あれば、よろしく願います。

(高山代表)

ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。それでは、その他ということになりますが、何か委員の皆様方から、あるいは事務局からその他ございますでしょうか。

それでは、本日の議題は以上になりますので、事務局の方にお戻ししたいと思います。お願ひいたします。

(事務局 林)

はい。事務局障がい者支援課林です。本日は長時間に渡り、貴重なご意見とご協議いただきまして大変ありがとうございました。よくアンケート調査の際に、設問数とか、事業者の方々、日々業務でお忙しい中ご協力いただく上で、時間がかかりすぎて業務の妨げになってしまうということで、様々なご意見等を頂戴しております。ただ、その中で本日皆様からいただいたご意見を活用しながら、事前シートと当日のヒアリングについて、ご負担のない範囲でできるだけ各当事者と団体の方あるいは事業者の意見をいただきながら、プランに反映させていきたいと思ひます。後日調査票を修正後、委員の皆様へ送付いたしましたら、恐れ入りますがご確認いただきまして、部会を開催する時間が無くなってしまい大変恐縮ですが、お送りさせていただいた調査票について、修正やお気づきの点がございましたら、事務局までお知らせいただければと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

次回の開催についてですが、先ほど触れました通り、次回開催日程8月4日月曜日で、時間は本日と同じく午前10時から正午までの予定となっております。会場にお越しいただく場合には、本庁舎5階の会議室5-1を予定しております。

これをもちまして令和7年度第1回藤沢市障がい者プラン検討委員会を閉会いたします。長時間に渡り貴重なご意見大変ありがとうございました。

閉会